

沖縄アミークスインターナショナル
幼稚園・小学校・中学校

AMICUS
Okinawa AMICUS International

「自分で考え、学び、行動し、
自分の将来を自分で切り開く
自立した子ども」を育てる。

学校案内

学校法人 アミークス国際学園



学校法人 アミークス国際学園
〒904-2205 沖縄県うるま市字栄野比1212-1
TEL:098-979-4711 FAX:098-979-4712
<http://www.amicus.ed.jp>



学校法人 アミクス国際学園

教育理念

自分で考え、学び、行動し、 自分の将来を自分で切り開く 「自立した子ども」を育てる。

自立するためには、考える力を養わなくてはなりません。子どもたちひとりひとりは、誰もが独立した固有な存在です。固有な存在である子どもたちが抱える問題もやはり固有です。そして、この固有な問題を解決するのは、結局のところ、自分自身でしかないのです。考える力が求められるのは、自分自身の問題を解決するのは、自分自身でしかない、という当たり前のことが理由です。つまり、考える力は、人間が自立して生きるための基本姿勢であり、生命力の中核でもあるのです。

自立するためには、学びが必要です。学びは知識を生みます。知識を基に、子どもたちは自分自身の世界観を作ります。知識が豊富で、しかも知識が正確であればあるほど、子どもたちの世界観は普遍性を持つことができます。普遍性のある世界観によって、子どもたちは社会や物事をスムーズに理解し、勇気を持って生きていくことができます。アミクスでの教育は、広く、深く、知識を身につけることで、賢く、たくましく、自立した子どもたちの育成を目指します。

自立するためには、他人とのコミュニケーションができなくてはなりません。コミュニケーションを通して、相手を鏡としながら、子どもたちは自分自身のことを理解し、自立していきます。アミクスが英語教育に力を入れるのは、日本にとどまらず世界中のさまざまな人間とより広くコミュニケーションをとるためのツールとして、英語が重要だと思うからです。英語力によって子どもたちはさまざまな文化に接し、世界というフィールドで、自分自身のこと、自分の国のことも理解できるようになるでしょう。柔軟で、新鮮なコミュニケーションは、子どもたちを個性的で、創造的な人間に育て、協調的で、愛情深く、心の広い人間にするはずで、コミュニケーションの力は、行動する力になっていきます。

アミクスはいかなる宗教とも与(くみ)しません。あらゆる民族、あらゆる文化を区別しません。宗教や民族、文化の違いを強調することは、社会を正しく見ることの妨げになることがあります。それは歴史から学ぶことができます。子どもたちが自立するために必要なものは、物事の事実を正確に知ることであり、事実と向き合い、考えることです。事実は子どもたちの意識を経て、真実に高められます。それこそが知性です。さまざまな生活体験を持った子どもたちが、ひとつの学校の中で学ぶことは、日本の教育の国際化の具体的な姿ともいえます。

学校はきわめて社会的な存在です。学校は常に社会に大きく影響されます。しかしその反面、社会を作るのも学校なのです。社会が学校を作り、学校が社会を作ります。本校は自分で考え、学び、行動し、自分で自分の将来を切り開く「自立した子ども」を育てることによって、社会に貢献していきます。





AMICUS emblem



アミークスの校章はヤンバルクイナをモチーフにしています。ヤンバルクイナは1981年に正式に新種として認められた沖縄の固有種です。山原(ヤンバル)では以前から「アガチ」「ヤマドゥイ」と呼ばれていた鳥です。学名 Rallus okinawae

What's AMICUS ?

AMICUSはラテン語で「友だち」を意味します。スペイン語の「アミーゴ」の語源でもあります。宮古島の方言の「アグドゥス」は、“仲のいい同級生”を意味しますが、フィリピンを経由してスペイン語の流れをくむという説もあります。



アミクス児童・生徒の未来像

Think Global + Act Local = Glocal Citizens

「地域に根ざす地球市民」

アミクスが目指す “Glocal Citizens” の特色

アミクスでは、子どもたちがグローバルな感覚を育む助けになるよう、豊富な学習環境を整えています。総合的な取り組みにより、児童生徒が創造的な思考者(THINK)、自主的な学習者(LEARN)、そして挑戦する人(ACT)となるよう育成します。

創造的な思考者(THINK)

- ・地球規模で考え、文化の多様性の価値を認める
- ・問題を多面的にとらえる
- ・多文化的な環境でも効果的かつ堂々とコミュニケーションを取る

自主的な学習者(LEARN)

- ・自ら疑問を持ち、思考し、やり通す
- ・生涯学習者としての自覚を持つ
- ・テクノロジーに適應できる

挑戦する人(ACT)

- ・率先して変化を受容し、弾力的に受け止める
- ・適應性に富み、斬新で、協同的である
- ・社会文化的な感受性と自覚を持ち合わせている

アミクス学習ガイドライン

アミクス教育理念

自分で考え、学び、行動し、自分の将来を自分で切り開く「自立した子ども」を育てる

アミクスインターナショナルガイドライン

① イマージョン教育

具体的手法C: 語学力・コミュニケーション能力

具体的手法E: 異文化理解・アイデンティティの確立

② 探求型教育法の導入

具体的手法A: 知識・技能を活用する学習活動

具体的手法B: 横断的課題解決学習・探究的な活動

具体的手法D: 積極性・チャレンジ精神・協調性・柔軟性・使命

具体的手法F: メディアリテラシーの育成

③ 確かな学力の定着

効果的な
コミュニケーション
能力

自分自身で
考える力

世界に対する
深く広い知識

地域に根ざす地球市民

自分で考え、学び、行動し、自分の将来を自分で切り開く「自立した子ども」を育てる



イマージョン教育とは?

「イマージョン」という表現は、英単語の“to immerse”(浸すこと、完全に浸された状態)が由来となっており、一般的にこのコンセプトは「言語の風呂」と理解され、子どもたちを言語習得へ導くような刺激的な環境が作られます。アミクスのイマージョン教育も同様で、子どもたちは英語環境に浸されることとなります。これは、英語を英語の授業で習うのとは違います。アミクスでは、子どもたちは、一日の始まりの朝のホームルームから、英語で会話をし、ほとんどの教科を英語で学び、英語は毎日の活動の手段として使用されます。アミクスでのイマージョン教育の目的は、各教科の知識習得や異文化への理解とともに、母語と第2外国語の2種類の言語を発達させることです。学校では、英語と日本語、どちらの言語も文化も平等に位置づけられています。子どもたちはアミクスの国際色豊かな教員によって、日本を含む多様な国の文化に触れることとなります。

アミクスは子どもたちが異文化交流を楽しみながら、文化的な違いよりも共通点を見つけられるような国際感覚を育てていきます。子どもたちをGlocal Citizensとして育てていくために、文化を教えることと言語を教えることは、切り離すことができないと私たちは信じています。



幼・小・中一貫教育 4つのステージ

K(幼)1 / K2・1・2

Induction Stage 導入ステージ

3・4

Foundation Stage 基礎ステージ

5・6

Orientation Stage 発展ステージ

7・8・9
(中1・2・3)

Towards Independent Stage 自立へのステージ



アミークスでの各教科の特色

英語 English

グローバル社会を
リードしていく力を培う



アミークスでは言語の5つの必須スキル:リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング・メディアリテラシーをバランスよく子どもたちに触れさせています。子どもたちはフォニックス・歌、リーディング・ライティングの基礎作りなどを通して幼稚園から英語との関わりを始めます。

アミークスでの英語プログラムは世界のさまざまな国から集まった教員免許を保持するプロのチームにより編成されています。異なったバックグラウンドの教員が集まるチームですが、子どもたちの言語スキルを構築するため、カナダのオンタリオ州で使用されているオンタリオプログラムを導入しています。

アミークスでの英語プログラムはどの国であっても、英語を主言語とする高校に問題なく入学し、成功を取るために必要なスキルを子どもたちに備えさせることを目的としています。



子どもたちはレベル分けされた読み物からスタートし、徐々に小説へと移行します。バラエティーに富んだ文章(エッセイ、詩、正式・略式の手紙など)を書くことを学び、言語プログラムが進むにつれ、より長く、複雑な文章を書いていきます。メディアリテラシースキルは、メディア媒体の理解、ポスター・パンフレット・動画・コマーシャルなどの作成が含まれます。アミークスでは21世紀において必要不可欠であるこのスキルを1年生から徹底して学びます。

算数 Mathematics

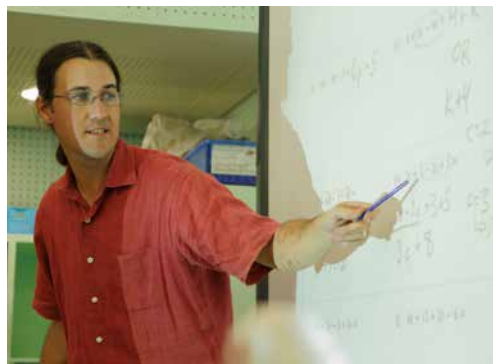
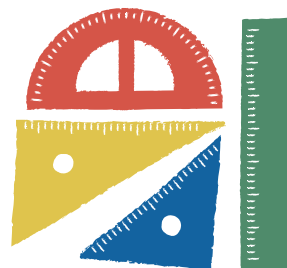
好奇心を刺激する
"楽しむ" 算数



アミークスでは、算数の学習内容だけでなく、学習の過程、そして日常生活との関連性を重視しています。教科書は文科省検定教科書の英語版を使用し、低学年ではシンガポール版算数教材など、補助教材も併用しています。

チームティーチングを通した英語担当教員と日本人教員の密接な共同指導により、違った観点からの数学的概念を強化され、子どもたちの学習に役立っています。日本人担任が英語担当教員と協力し、言葉が壁となり算数の授業が困難となっている子どもたちをサポートしています。両言語での算数の理解を確かなものにするために、高学年では週に何回か日本語のプリントが15分間の朝学習の時間に使用されています。

算数のプログラムを通して、子どもたちは数学的思考を備えた、自信に満ちたコミュニケーターとして成長し、自身や将来について判断をし、表現ができるGlocal Citizensとなることでしょう。



理科 Science

世界にあふれる「フシギ」を紐解く
~ハンズオン学習を通して



アミークスの理科チームは、視覚・触覚・嗅覚・聴覚・味覚という5つの感覚を「ハンズオン学習」を通して体験することに重きをおいています。教科書で基礎を構築し、世界の不思議に触れることで科学的理解を深め、その不思議をめぐる秘密を発見しようとする力を養います。文科省の検定教科書に加え、アメリカの「サイエンスフュージョン」もテキストとして用い、その他デジタル教材も子どもたちの学習効果を高めるために使われています。教員は子どもたちの興味・関心そして安全な環境で発見することの楽しさを大切にしています。アミークスの理科室では学ぶことへのワクワクが伝わってくる声日々聞こえてきます。



国語 Japanese

「伝えあうことば」が使える子どもを育てる

社会 Social Studies

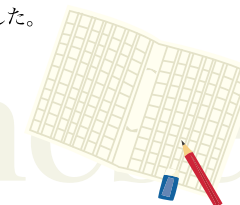
“自ら考える” Glocal Citizensの育成



アミークスの国語の学習では、「考える力」「学ぶ力」「表現する力」という3つの柱を大切にしています。国語の学習も英語と同様に「ことば」の学習です。国際色豊かなアミークスならではの環境を生かした「伝え合う」ための言語活動に取り組んでいます。2014年度からは「漢検」にもチャレンジし、2年連続で「優秀団体賞」を受賞しました。



アミークスの社会科学習は社会の一員として効果的に社会に関わることができるスキルを理解し、身に付けることに重点をおいています。日本の学習指導要領の内容に加え、世界中を旅し、世界中で学んだ経験のある教員学習内容をサポートしています。プロジェクトベースの授業が主となっており、低学年での地域社会から中学校での複雑なグローバル問題まで幅広いトピックが扱われています。学習内容は沖縄的、日本的、そして地球規模的視点から考えられており、1つの問題に対してもいくつもの考え方があり、偏見も存在するということを理解する能力が備わります。1つの問題を多面的に捉えることと偏見が存在するということを日本で学ぶことはとても難しいことですが、それをアミークスで学ぶことで、世界のどこでも率先し、共存しながら生き、働くことができる強い素地を作ります。アミークスの社会科は学校理念の主たる部分であるグローバル人材の育成ということが特に意識づけられています。





幼-2

Induction Stage
導入ステージ

このステージは正式な教育課程の始まりであり、子どもたちが英語を通しての学習に慣れ、同時にアミークスのユニークな学習環境を楽しむ時期でもあります。子どもたちは読むこと、書くこと、算数の基礎スキルを身に付けることで自信を持ち、国際的な環境で社会性の基礎を培います。

アミークスの教育理念を 実践する初歩ステージ

K1/K2(年中 / 年長)



幼児期は、自分の行動を自分以外の人たちに認めてもらう表現方法を得るためにとても大切な時期です。アミークス幼稚園では子どもたち一人ひとりが自由な発想で物事を捉え、理解・想像し自ら解決できるよう校外学習や実体験を多く取り入れ、園児一人ひとりが内に秘めた可能性が開花できるよう見守りながらサポートしていきます。

1日のスケジュール (k1-年中)

- 8:15~ 9:00 登園 / フリータイム
- 9:00~ 9:20 トイレ休憩
- 9:20~ 9:50 サークルタイム
- 9:50~10:30 アクティビティータイム
- 10:30~10:45 スナックタイム
- 10:45~11:35 ステーション(活動別)タイム
- 11:35~11:55 トイレ休憩
- 11:55~12:45 ランチ
- 12:45~13:00 清掃
- 13:00~14:00 ストーリータイム / お昼寝タイム
- 14:00~14:50 トイレ休憩 / 帰りの準備
- 14:50~15:10 降園

1日のスケジュール (k2-年長)

- 8:15~ 9:00 登園 / フリータイム
- 9:00~ 9:20 トイレ休憩
- 9:20~ 9:50 サークルタイム
- 9:50~10:30 アクティビティータイム 1
- 10:30~10:45 スナックタイム
- 10:45~11:35 アクティビティータイム 2
- 11:35~11:55 トイレ休憩
- 11:55~12:35 ランチ
- 12:35~13:00 清掃 / 自由遊び
- 13:00~14:20 ステーションタイム
- 14:20~14:35 トイレ休憩
- 14:35~14:50 ストーリータイム
- 14:50~15:10 降園



1年生

1学年では、幼児教育との接続を意識すると共に、児童がスムーズに小学校生活へと適応していけるよう「学校生活を楽しむ」、「間違いを恐れずに挑戦する」、「考えて行動する」の三点を教育目標として掲げています。特に、他学年との触れ合いや交流活動、他教科との関連を図る指導を重視し、教科を横断した大単元から各教科の単元へと分化していく合科的・関連的な教育課程を構成しています。



2年生

2学年の学年目標は、「Let's smile, try and work together.」です。学校生活にも慣れてきた児童は、友達との関わりを好む姿勢が増えてきます。他者とのコミュニケーションの場を増やしていくために、学年間で教科や行事等における交流を幅広く導入しています。交流を通して、それぞれが目標に向かい、相互間で協力する態度が見られるようになり、周囲に優しい声かけや手を差し伸べてあげることができるようになります。人を思いやり、笑顔がたえない子どもたちであるために、私たち教員も「Let's smile, try and work together.」の精神で日々、子どもたちと関わっています。

1日のスケジュール (小学校)

- 8:15~8:30 登校 / 朝の活動
- 8:30~8:55 静かに読書 / ホームルーム
- 8:55~10:35 1時間目・2時間目
- 10:35~10:50 スナックタイム
- 10:50~12:30 3時間目・4時間目
- 12:30~13:40 ランチ / 休み時間 / 清掃
- 13:40~15:35 5時間目・6時間目 / ホームルーム
- 15:35 下校 / お迎え





3-4
Foundation Stage
基礎ステージ

理科、社会などアカデミックな教科が3年生から導入され、児童は学習の基盤をこのステージで構築し始めます。また、コミュニケーションや学習のツールとして英語を使うことに自信が付き始めるのもこのステージです。学年横断型のアクティビティーも始まり、異学年間の協働により社会性も構築されます。

集団の一員としての自覚を持って、身の回りの人々を思いやり、互いに協力し合う精神を養う。



5-6
Orientation Stage
発展ステージ

児童は「Language Arts」という英語の言語学習を通して言語スキルを深化させていき、難易度の上がった教科内容で学習スキルを高めていきます。さまざまな課外授業や遠足、宿泊学習、本土への修学旅行を通して、自ら考え、学び、行動することを体現していきます。このステージで児童は自分の強みや将来のゴールを探求することをすすめられます。

小学校のリーダーとしての活躍を視野に。自分の意見をしっかり持ち、主張しあえる能力の育成。





7-9

Towards Independent Stage

自立への
ステージ

生徒会活動やさまざまな委員会活動を通じて、より高い自主性が育っていきます。個人研究やプロジェクトなどで個々の可能性を見出し、将来の目標を定めながら、中学卒業後のステップに向けて準備していきます。

幼・小・中一貫教育の集大成。
「自己」を確立する
自立へのステージ。



AMICUS GUIDE

14 自立へのステージ

OUTPUT を重視した学習

中学校における各教科の授業では、共同学習を通して知識を構築すること、そしてレポート課題やディスカッション、ディベートなどにおいて自らの意見を論理的にまとめ、発信することが求められます。9年生（中学校3年生）では、自ら課題を設定し、調査・研究・発表を行う「個人プロジェクト」に一年を通じて取り組みます。そうして培った「発信力」が小学校から積み重ねてきた「語学力」と組み合わせ、国際化社会へと羽ばたくための大きな力となります。

高度な自治活動

中学校では生徒が中心となって、より高度な自治を行う「生徒会・委員会活動」が始まります。生徒自らが学校をよりよくするためにアイデアを出し合い、活動を計画し、実行することで、社会において主体的に生きるスキルを学びます。活動を牽引する執行部のメンバーは民主的な選挙によって選出され、リーダー研修等を通じてリーダーとしての資質を身につけていきます。またこれらの活動はコースや学年を横断して行うため、他学年、他コース間の生徒同士の交流をより深めることができます。



巣立ちへのサポート

アミクスに高等学校はありません。アミクスからそれぞれの未来へと旅立ってゆく子どもたちをサポートするため、中学校では一人ひとりが夢を見つけ、そのための一歩を踏み出すサポートをしています。進路学習会や講演会、学級活動等の時間を通して、子どもたちはさまざまな分野で活躍する人の話を聞き、お互いの夢を語り、巣立ちへの準備を進めます。また、日本の高校への進学をサポートするため、週に一度数学と理科の日本語による補習を行っています。



1日のスケジュール(中学校)

8:15~8:30	登校/朝の活動
8:30~8:55	朝学習/ホームルーム
8:55~10:40	1校時・2校時
10:40~10:50	学習準備・移動
10:50~12:35	3校時・4校時
12:35~13:40	ランチ/昼休み/清掃
13:40~15:25	5校時・6校時
15:25~15:35	ホームルーム
15:35	下校

AMICUS GUIDE

自立へのステージ 15



What comes after AMICUS? - 卒業後の進路：アミークス提携校 -

幼・小・中一貫教育の成果を踏まえ、それぞれの生徒が夢に向かって卒業後の進路を決定できるよう、サポートします。



短期・長期留学

Eltham College (オーストラリア) URL: <http://elthamcollege.vic.edu.au/>

オーストラリアの「芸術の街」、メルボルンの都心から車で40分ほどのところにあるエルサムカレッジは、ディズニelandほどの美しく、自然に囲まれた広大な敷地にあります。1974年に幼・小・中の一貫教育を行う男女共学の私立校として創立され、現在約900名の園児、児童、生徒が通っています。特に音楽や芸術、スポーツに力を入れており、音楽ではジャズアンサンブル、コーラス、ストリングオーケストラなどを最先端のスタジオやレッスン室を備えた専門施設でトップレベルの練習ができます。また、スポーツ系ではホッケーやクリケット、文化系では、ディベートなどの活動が盛んです。校内には子どもたちがレストランでの接客から運営までを体験学習できる、「スワイパーズ・ガラー」というレストランがあり、昼間はカフェとして夜はレストランとして一般の方にもサービスをしながらホスピタリティーマネジメントを学ぶことができます。アミークスとは2012年に姉妹校提携し、夏季期間中の短期留学プログラムを実施しています。3週間実施されるこのプログラムでは、エルサムカレッジの通常授業に現地の児童、生徒と共に参加し、オーストラリアの家庭でホームステイを体験できます。また、アミークスの推薦生徒として高校に入学することができます。



学状況に合った授業を受けることができます。日本からの留学生には、慣れない文化や言語で戸惑うことのないよう、日本人スタッフが常駐しており、日本語で相談したいことなどがあればいつでも対応してくれます。また、保護者へレポートが定期的に送られ、学校生活の様子を把握することができます。アミークスとは2016年に姉妹校提携し、中学校卒業後の進学先として、またサマープログラムの実施、長期留学など、児童、生徒、職員間の今後の交流が期待されます。



Ojai Valley School (アメリカ) URL: <http://www.ovs.org/>

ロサンゼルスから北へ100km、車で約1時間半の山々に囲まれた緑豊かな環境にあり、1911年にプリンストン大学出身のエドワード・イエーマンズ氏によってカリフォルニア州オーハイ市に設立されました。幼稚園の年中児から高校3年生までの男女約300名が世界15以上の様々な地域から集まり、その内の約4割が寮での生活を送りながら、通学しています。1クラスあたりの生徒数は13名と少人数制で、WASC(アメリカ西部私立大学協会教育認定機構)の承認を得た学校です。学業でも優秀な成績を収める生徒が多く、過去の卒業生はボストン大学、ブラウン大学、コロンビア大学、オックスフォード大学、カリフォルニア大学バークレイ校などの大学に合格しています。また約2割が海外からの留学生で、英語を母語としない学生への英語プログラムも充実しています。スポーツやアウトドア教育などの課外活動を通じて豊かな人間性をはぐくむというのが教育方針で、キャンパスを囲む大自然が野外実習の場として活用され、ボランティア活動も盛んです。特に乗馬には熱心に取り組んでおり、約40頭の馬を所有し、体育の時間、キャンプなどで乗馬のレッスン、クラブ活動やプライベートレッスンでも馬が活用され、大会にも出場しています。アミークスとは2016年に姉妹校提携し、サマープログラムや卒業後の進学先として交流を深めていく予定です。



Fieldstone School (カナダ) URL: <http://fieldstonedayschool.org/>

フィールドストーンスクールは、カナダのトロント市の中心街から北西約10kmにある閑静な住宅街に位置する全校約300名からなる男女共学の幼小中高の一貫教育を行う私立学校です。1997年に創立されましたが、特徴である家庭的な雰囲気や校風とレベルの高い教育プログラム、そして温かくきめ細かいサービスは創立当初から変わらず、フィールドストーンスクールの伝統と誇りとなっています。クラス平均人数は12名で、オンタリオ州教育省のカリキュラムを基盤に、世界でもトップレベルであるイギリスのケンブリッジ大学教育プログラムを提供しています。卒業後には、カナダ、アメリカ、日本を始めとする世界各国の名門大学への高い進学率を保持しています。全校生徒の半数が留学生であり、放課後の補習授業や個人授業が組み込まれたプログラムが個別に作成されるので、個々の修



アミークスの1年



[前期]4月~10月

[後期]11月~3月



4月 入園式・入学式

在校生や教員がパフォーマンスで新入生を歓迎します。



6月 平和学習

慰霊の日を機に子どもたちが平和について考え、絵や文章で表現します。平和集会も開かれます。



6~9月 シュノーケリング (小学校・中学校)

インストラクターの指導のもと、恩納村の海に潜ります。



4月 始業式(小学校・中学校)

新しいクラスメイトと過ごす1年間の始まりです。新しい担任の発表に子どもたちも興奮します。



6月 スポーツデー

保護者も参加し、家族ぐるみでスポーツを楽しみます。



12月 パフォーマンスデー

毎年テーマを決め、歌やダンスを披露します。子どもたちは練習を積み、発表することの喜びを体感します。



2月 6年生 修学旅行

2泊3日の奈良、京都、大阪、神戸の旅に出かけます。(2014年度例)



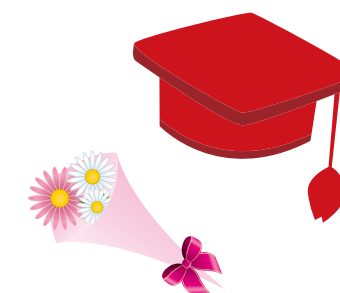
3月 卒業式・修了式 (小学校・中学校)

一人ひとりへ卒業証書が授与されます。毎年卒業生による合唱や一年間の思い出の発表が行われ、成長が実感できます。



3月 卒園式

一人ひとりへ卒園証書が授与され、アミークス小学校の入学へと大きな一歩をふみ出します。



遠足・校外学習

学年ごとに遠足や校外学習へ出かけ、自然や文化を体験します。

保護者参観

幼稚園では、年2回の保育参観があります。小学校と中学校では、年3回の授業参観があります。その他、学期末等に保護者参加型のイベントを企画する学年も多くあります。

長期休暇

春休み(約2週間)、夏休み(約1か月間)、秋休み(約1週間)、冬休み(約2週間)があります。



施設案内

Facility Guidance

豊かな自然に囲まれたアミクスの敷地は27,000㎡の広さがあり、起伏にあわせた低層の校舎が並んでいます。小学校低学年棟・中学年棟・高学年棟・メディアセンター・多目的ホール・管理棟が回廊でつながっており、大きな吹き抜けの回廊と中庭は子どもたちの憩いの場や遊び場として常ににぎわっています。



小学校教室



中学校教室



中庭



多目的ホール



幼稚園

◀メディアセンター
校舎の中心に位置し、子どもたちは毎日必ずメディアセンターを通り教室へ向かいます。「図書館の時間」という授業もあり、日々本に触れ合う機会が多く設けられています。吹き抜けのある2階建てのオープンな空間には自然と人が集まり、学校全体で取り組んでいるプロジェクトや子どもたちのアート作品の掲示場所としても活用されています。



PCルーム



ミュージックルーム



Annex



サイエンスラボ

Kids / Junior Club

MUSIC

UMABU

Soccer

TRACK & FIELD

Pottery making

Tech Kids School
Let's say Hello! to the world.

Eiken Support

BASKETBALL

KARATE

AMICUS HULA CLUB

BUKU BUKU

Speech Debate

EQUESTRIAN

その他 水泳、書道、琉舞

(2016年度 例)

キッズ / ジュニアクラブ (放課後課外活動)

課外活動は子どもたちの成長に重要な役割を担っていると考えています。活動を通して子どもたちの世界が広がり、子どもたち自身で興味・関心を深めていくことができるからです。アミクスではスポーツ系、文科系のクラブとも、特色のある課外活動を子どもたちにオファーしています。

School Bus

学校の登下校に利用されているスクールバスは、沖縄本島全域を対象に運行しています。車両は全て、スクールカラーであるブーゲンビリア色を基調とし、その上にスクールロゴが施された目を引くデザインです。ルート・停留所は、できるだけ子どもたちにとって負担にならないよう、乗車時間が短く、安心して利用できるルートを設定しています。登校時は1便、下校時には2便を運行しています。



Uniform

フォーマル・セカンド・PE

アミクスには3つのユニフォームがあります。式典時や普段の学校生活で着用する「フォーマルユニフォーム」、暑い沖縄でも過ごしやすいTシャツとパーカーの「セカンドユニフォーム」、また体育などの授業で着用する「PEユニフォーム(体育着)」です。

フォーマルは幼・小・中と子どもたちの成長に合わせて、デザインも変わります。中学校を除いてはジャケットやコート・靴などの指定はなく、子どもたちが自由に組み合わせを楽しんで着用することが出来るようになっています。



Q&A

● イマージョンって?

「浸す」という意味で、子どもたちは英語環境に浸されることで自然に言語を身に付けていきます。(p.7へ)

● 一条校って?

学校教育法第一条で定められた学校のこと。アミクスでは日本の小・中学校の卒業資格が得られます。

● 英語力がないと入れない?

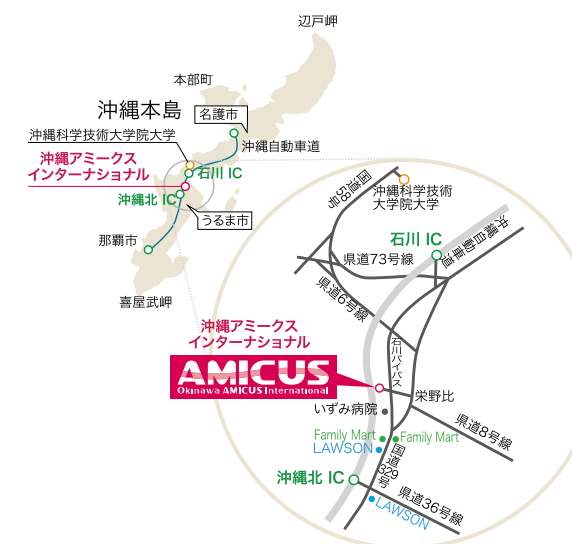
幼稚園およびイマージョンコースは英語力を問う入学試験はありません。

● 日本語は大丈夫? 国語力は?

両コースとも国語の授業を通して日本語の力も付けていくので、問題ありません。

● Access

アミクスは沖縄本島のほぼ中心にある自然に囲まれた学校です。



沖縄県うるま市栄野比1212-1

車 那覇市内から 約45分
(那覇IC → 沖縄自動車道 → 沖縄北IC下車)
名護市内から 約40分
(許田IC → 沖縄自動車道 → 石川IC下車)
沖縄科学技術大学院大学 (OIST) から 約20分

バス 「いずみ病院入口」バス停 下車 → 徒歩約20分